

## 技術系中堅企業研究会

技術系中小企業の中堅企業への発展と事業の深化に必要な課題を探る

第4回 2018年10月18日(木) 18:30~20:30

### □ 第4回目 プレゼンターと課題提起

中小・中堅企業として成長を続けるには

— 綜研化学の成長プロセス事例 —

綜研化学株式会社 元会長・社長 中島 幹 氏(略歴は裏面参照)

・前3回で講師から紹介のあった米国シリコンヴァレーモデル、ドイツMittelstandモデル、日本非系列・脱下請け自立モデルの3つを視座に置き、材料分野で先端技術の開発とその経営をされた実体験を伺い、更に中堅企業への壁とそれをどう乗り越えられたかを考えたいと思います。(研究会責任者 余田)

#### 日本開発工学会からのメッセージ

企業が自立し発展していく過程には「乗り越えるべき壁」が存在すると言われています。例えば売上が10億、100億、1000億円と拡大するステップで壁にぶつかり、これを乗り越えないと次に進めないと考えられます。本研究会では技術開発型企業に着目し、中小企業から中堅企業へと成長し事業を深化させていくに当たり「壁」とはどのようなものであるのかを探り、可能であれば提言に纏めたいと考えています。

#### 研究会責任者・コーディネーターからのメッセージ

◆ 「技術系ベンチャー叢成ワークショップ」でその自立支援の課題を整理したところであるが、自立を始めた技術開発型中小企業が、地域に貢献しグローバル化に対応できる中堅中小企業、中堅企業へと成長していくために必要な、「壁」を乗り越えるための課題を整理したい。

◆ 米国シリコンヴァレーモデル、ドイツMittelstandモデル、日本非系列・脱下請け自立モデルの3つを比較しつつ、中小企業・中堅中小企業・中堅企業へと変化していく過程において、3つのモデルに共通のモノ、モデル独自のモノを抽出して、乗り越えるべき壁とは何か、あるいは不動に維持すべきものは何かを考えて行くこととする。  
研究会責任者・コーディネーター 余田幸雄

● 日時: 2018年10月18日(木) 18:30~20:30

● 場所: 東京理科大学(神楽坂キャンパス)理窓会館第1会議室  
(〒162-0825 新宿区神楽坂2-6-1 PORTA)

● 参加費: 会員1,000円、非会員2,000円

● 定員: 最大35名(定員になり次第締め切ります)

● 申込方法: FAX(03-3350-9102) またはEメール(office@jpmot.org)にて、  
氏名、所属、住所、電話番号、Eメールを明記して、お申し込み下さい。

●略歴

プレゼンター— 中島 幹 氏

1965年慶応大学卒業。機械工学を専攻。1967年東京工大大学院を卒業。機械工学と化学工学を専攻。東洋エンジニアリングに入社。1982(昭和57)年40歳の時に綜研化学に入社。取締役エンジニアリング事業部長、常務取締役等を経て、1991(平成3)年に代表取締役社長に就任し、2008年(平成20年)代表取締役会長に就任。2015年相談役に就任、2018年に相談役を退く。この間、化学工学会会員、(一社)首都圏産業活性化協会(TAMA協会)会員、アジア・国際経営戦略学会として活動。なお、綜研化学は2004年JASDAQ上場。売上300億円、従業員1015名(連結、2018年年3月期)。

責任者・コーディネータ 余田幸雄

1973年京都大学法学部卒業。通商産業省入省後1978年に研究開発型企業育成センター(VEC)に関わり、その後、科技庁、工業技術院、NEDO等幾つかの技術関連部署に勤務。1997年6月JETROサンフランシスコ所長に就任。シリコンヴァレーにおけるJETROインキュベーターの創設や我が国の民間の機関との連携等若手進出の環境整備に関わる。2000年通産省を退職。2002年から2007年前半まで京セラにてM&A、ベンチャー投資を担当。同年後半からタスク・ヨダとしてベンチャー企業支援活動を行う。



東京都新宿区神楽坂2-6-1  
PORTA神楽坂

飯田橋の「神楽坂下」の交差点を、神楽坂の通りを上がり左側のPORTA神楽坂と言うビル内。  
当ビルは商業ビルで一階は飲食店、地下はサイゼリア。  
ビルの真ん中が吹き抜け風の通路になっており、通路の左側に「東京理科大MOT/イノベーション科・理想会館」の表示があり専用のエレベーター。

<申し込み> 第4回技術系中堅企業研究会(10月18日)と明記の上、下記項目に記入の上、FAXまたはeメール(office@jpmot.org)でお申し込み下さい。

●氏名： \_\_\_\_\_ ●所属： \_\_\_\_\_

●住所： \_\_\_\_\_

●電話番号：( ) \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_ ●eメール： \_\_\_\_\_